

Vol. 190

かけはし

理念

すべては患者様と
地域社会のために

病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

発行責任者 病院長 松本 健

先生
おたずねします

『大腸がんにおける外科手術』

<回答者>

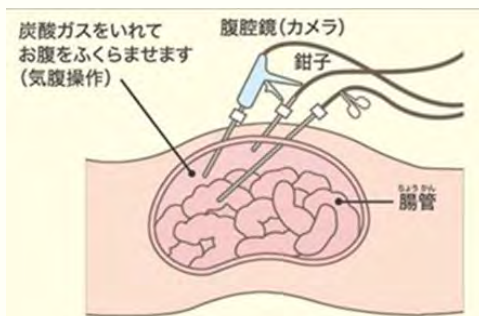
外科 吉田 優子

日本における大腸がん罹患患者数は、高齢者の増加や食生活の欧米化等の原因により年々増加傾向にあります。大腸がんは、早期発見・早期治療が行われれば、十分に予後の見込める癌腫の1つであり、リンパ節転移の可能性がない早期がんに対しては内視鏡的治療が、それ以外に対してはリンパ節廓清を伴う外科的な大腸切除術が行われています。



1993年に大腸がんに対して日本で初めて腹腔鏡下大腸切除術が行われ、2002年に同手術の保険収載がなされて以降、近年、大腸がんに対する腹腔鏡下手術は広く行われるようになりました。腹腔鏡下手術は、腹部に5-10mm程度の傷を数か所つけ、内視鏡や鉗子等の様々な機器を腹腔内に挿入して手術を行う方法です。これまで行われていた開腹手術と比較し、腹腔鏡下手術は拡大視効果によるきめ細かな手術が可能となる一方、高度の技術を必要とする手術法です。腹腔鏡下手術の利点としては、小さな術創による整容性の向上や術後疼痛の軽減、それに伴い手術翌日からの早期離床が可能であり、腸管蠕動の回復が早いことから術後3日目には食事摂取が可能となっています。また、がん治療で最も重要である長期予後に関しても、開腹手術とほぼ同等であることが示されており、現在の『大腸癌治療ガイドライン医師用2019年版』ではがんの進行度や部位にかかわらず、各施設の技術レベルを考慮したうえで、根治性を担保しつつ安全に手術を行うよう薦められています。

当院は、大腸がんに対する腹腔鏡下手術を積極的に取り入れており、術後7-10日目での退院、および早期の社会復帰を目標とし、安全確実な治療をすすめています。また、遠隔転移を伴う進行大腸がんに対しては、抗がん剤治療と手術によるコンビネーション療法を可能な限り取り入れ予後の改善につとめております。



<大腸癌術後創>

大腸癌研究会編.患者さんのための
大腸癌治療ガイドライン
.2014年版,p28-29,金原出版,2014

お問い合わせ先

外科受付：078-672-2628 (外線)

8-63-22628 (内線)

新任医師 ご紹介

- Q1.専門分野
- Q2.趣味・特技
- Q3.これからの
抱負



内科 岡本 英久



- A1.腎臓内科
- A2.旅行
- A3.地域医療のお役に立てるよう頑張ります。

初期研修医 中村 謙



- A1.初期研修医
- A2.読書
- A3.未熟者ですが、
精一杯頑張ります。

眼科 徳永 敬司



- A1.眼科（網膜・硝子体）
- A2.子供とレジャー
- A3.眼科1年目の時にお世話になり、
今年度より戻ってまいりました。
手術含め貢献できるように努め
たいと思います。

眼科 小川 令



- A1.眼科
- A2.ダイビング
- A3.精一杯頑張りますので、
どうぞよろしくお願い
致します。

眼科 岸本 真椰



- A1.眼科
- A2.スキー
- A3.眼科1年目ですが、
一生懸命頑張ります。

看護科のユニフォームを リニューアルしました

4月より、看護科のユニフォームをリニューアル致しました。より動きやすく、清潔感のあるデザインになりました。新しいユニフォームとともに、今後もより良い看護を提供できるように努めてまいります。



新人看護師



桜の花の便りとともに、今年度は20名の新人看護師が入職しました。
 まだまだ未熟ですが、研修に参加し看護技術を磨き日々一生懸命頑張ってます。
 患者様やご家族に寄り添い、皆様が笑顔になれるような、心温まる看護が提供できる看護師を目指しています。これから成長していく姿を温かく、且つ厳しく見守ってください。

新人看護師研修責任者 中渡瀬 文子

病院ホームページのご紹介

当院のホームページをご存じでしょうか？
 診療予定だけでなく、各診療科の特色や手術実績なども掲載しておりますので、どの科を受診したらいいのかわからない場合などに、ぜひご参考になさってください。



〈トップページ〉



〈各科の紹介ページ〉

アクセス方法：「三菱神戸病院」で検索
 URL：http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/